

2022 年度

# 県立広島大学公開講座

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によって、オンライン(リアルタイム配信)開催となる可能性があります。

## 家族支援の実践実技講座

家族や地域における課題解決(高齢者介護、児童虐待、引きこもりなど)への家族支援が、各領域の専門職に求められています。家族支援には、個別支援とは異なる理論と技術が必要です。では、その理論と技術とは、どのようなものがあるでしょうか。本講座では、システム論を基礎に置いて、家族成員間の語りを重視したアプローチを取り上げ、問題解決過程の生成法を実践的に学びます。

日時	(1) 令和4年7月10日(日) 10時00分~15時00分 (2) 令和4年7月17日(日) 10時00分~15時00分 (3) 令和4年7月24日(日) 10時00分~15時00分 (4) 令和4年7月31日(日) 10時00分~15時00分
講師	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 准教授 大下 由美
会場	(1)・(2) 県立広島大学三原キャンパス 4502-4507 三原市学園町1番1号 (3)・(4) 県立広島大学広島キャンパス 2413, 2414, 2451 広島市南区宇品東一丁目1番71号
対象	家族支援に携わっている専門職の方
定員	各会場 10名
受講料	8,200円 (1キャンパスのみ受講の場合は6,200円)
申込締切	令和4年6月19日(日)
問合せ先	県立広島大学 三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電話:0848-60-1120(平日9:00~17:00) メール:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

<p>受講条件</p> <p>※対面講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講座にはマスクを着用の上、来場及び受講してください。</li> <li>• 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策で、厚生労働省が開発を進めていた「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA:COVID-19 Contact Confirming Application）」をご自身のスマートフォンにインストールし、常時携帯してください。</li> <li>• 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさ等ふだんと体調が違ふと感じる場合、味覚障害がある場合、または濃厚接触者に同様の症状がある場合、出席をご遠慮ください。</li> <li>• 飛沫感染を防ぐため、受講者間の会話はできるだけ避けてください。やむを得ない場合は、小さな声で短時間のうちに済ませるようにしてください。</li> <li>• 受付では非接触型体温計で体温計測を行います。熱がある場合は出席をお断りしたり、事情をお伺いしたりすることがありますので、ご了承ください。</li> <li>• 受付に消毒液を設置していますので、入室前に手指の消毒を行ってください。</li> <li>• 講師およびスタッフはマスクを着用します。</li> <li>• 会場では受講者間の距離を保つため、着席箇所を限定します。</li> <li>• 会場のドアは開放します。また、窓やドアを開放して実施することが困難な場合は、少なくとも1時間ごとに窓やドアを開けて換気を行います。ドア開放による講師の音声の聞き取りにくさや、暑さ・寒さでご不自由をおかけしますが、ご協力よろしくお願ひします。（必要に応じて、各自上着等をご持参ください。）</li> <li>• 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、やむを得ずオンライン（リアルタイム配信）開催となる可能性があります。</li> </ul> <p>※ チラシ内にある受講条件（全文）を必ず確認して下さい。</p> <p>※ お申し込みがあった方は受講条件をご承諾いただいたものといたします。</p>
<p>受講条件 抜粋</p> <p>※オンライン （リアルタイム配信）講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Zoom (<a href="https://zoom.us/">https://zoom.us/</a>) を使用したオンライン講座で行います。</li> <li>• 大学内講義室での対面式講座ではありません。</li> <li>• 受講条件について承諾いただける方のみお申込みいただけます。</li> <li>• Zoom が使用できる受講用機材（パソコン、タブレット、スマートフォン等）やインターネット環境が必要です。  <ul style="list-style-type: none"> <li>※種類や性能に指定はありませんが、テレビ会議ができるものを推奨します。</li> </ul> </li> <li>• 受講用機材、インターネット環境、通信料等は受講者の負担となります。</li> <li>• Zoom や接続機材、インターネット環境の操作方法等について個別にお答えすることはできません。</li> <li>• 法令や公序良俗の違反、講座の妨害、講師を含む参加者を不快にさせる言動等があった場合、講師の判断でオンライン接続を中止する事があります。</li> <li>• 配信される講座内容や資料等について、いかなる手段による撮影、録画、録音、保存、複製、再配布、再配信を禁止とします。</li> </ul>

内 容	1	家族支援のための基礎理論	大下由美
	<p>家族をシステムとして捉える見方、その変化を引き起こす原理について学びます。家族間で生じる問題は、構成員間のコミュニケーション過程で生成される規則に基づいて構成された現実と捉えます。そのため、日常のコミュニケーション過程で生成される規則の変容が、解決につながります。関係者相互のやり取りを、解決探求型のやり取りに変容していく支援の基礎理論を学びます。</p>		
	2	家族支援のための変容技法論	大下由美
	<p>1 回目の基礎理論の復習を行います。その上で、具体的な家族システムの問題の評価方法と変容計画について、困難事例を取り上げて検討します。単純な問題生成パターンを仮説立て、その変容を体験的に学びます。支援過程で用いる循環的質問法の使用についても、従来の技法との使用法の違いについても、受講者によるロールプレイを通して、理解を深めます。</p>		
	3	家族支援の実際（事例検討）	大下由美
	<p>対人関係をシステムで捉える視点の復習に加え、システム内で生じている悪循環過程を変容する実際を学びます。参加者からの事例提供を含め、困難事例を取り上げ、単純な問題の評価フレーム、それに基づく介入計画、そして変化を生成する介入過程での技法使用の実際について学習します。</p>		
4	家族支援の実際(ロールプレイ)	大下由美	
<p>1 回目～3 回目までの内容の総復習を行います。特に循環的質問法の使用の実際について、体験的学習を中心に行います。受講者の方の実践事例、または仮想事例を用いて、変容計画の立案、そしてその計画に基づく循環的質問法を用いた面接のロールプレイを通して、理論と実践の統合的理解を深めます。</p>			

## 《 お申込み方法 》

下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申し込みください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/gues/questionnaire.php?openid=685>



- 申し込み内容確認後、公開講座係から受付メールを送信します。  
※メールの双方向テストを兼ねて、受付メールにご返信をお願いします。
- 申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。
- 先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。
- 定員超過等で受講できない場合は、別途ご連絡いたします。
- 電話やFAX、メールでのお申し込みは受け付けておりません。
- 合理的配慮が必要な方は、申込フォームの備考欄にご入力ください。  
個別に相談の上、対応させていただきます。

※ ご提供いただいた個人情報は講座運営にのみ使用し、それ以外には一切使用しません。

## 《 お問い合わせ先 》

県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係

〒723-0053 三原市学園町 1-1

電話：0848-60-1120（平日 9:00-17:00）

FAX：0848-60-1134

メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp